

2015 年度スマートウォーター研究会

主催：産業技術連携推進会議 環境・エネルギー部会・分科会
スマートウォーター研究会

日時：2016 年 2 月 9 日 14:00～18:00

場所：産総研つくば西（茨城県つくば市小野川 16-1）本館 2 階 第 2 会議室

概要：安全な水のスマートな管理においては、病原体や化学物質の管理・モニタリング技術が重要になる。これらモニタリング技術の今後の技術展望について、有識者らによる講演を介して深く議論する。

14:00 長崎大学工学部 准教授 藤岡貴浩

「下水の飲用再利用における病原体と微量物質の管理」

概要：近年、下水を高度処理して飲料水として再利用する“飲用再利用”が特に米国を中心に進んでいる。下水を飲用向けに再利用する場合には人体に悪影響を及ぼしうる微量物質（医薬品・農薬・環境ホルモン等）の除去は病原体（細菌・ウイルス・原虫等）除去と並んで重要課題である。本講演ではこれら物質の除去技術並びにそれら除去対象物質のモニタリング技術の今後の展開について発表を行う。

15:00 リオン株式会社環境機器事業部事業企画部 佐久間 暢

「微粒子計測器を応用した細菌迅速測定法の開発」

概要：微生物迅速法のメリットを踏まえ製品概要及び特徴を分かりやすく解説する。
特記事項：2016 年 4 月に公布予定の第 17 改正日本薬局法（以下；JP17）参考情報で、いよいよ【微生物迅速法】が収載される。微生物迅速法については EP、USP では既に Alternative 手法（代替法）として収載されている。

16:00 メタウォーター株式会社 R&D センター 基盤事業開発部

浄水プロセス開発グループ 山口太秀

「クリプトスポリジウムの自動測定装置の開発」

概要：水道におけるクリプトスポリジウム等対策指針に基づき、原水中のクリプトスポリジウムの測定が適宜行われているが、手分析であるが故に、作業負担が大きいことや、分析者によって結果が異なる等の課題が存在している。そこで、我々はクリプトスポリジウム及びジアルジアの分離濃縮・標識・検出の一連の工程を自動的に行う装置を開発した。発表では、本装置による測定事例を紹介する。

17:00 自由討論会 18:00 解散

ご来所の際は受付にて「環境管理研究部門 とりむら（鳥村）を訪問」とお伝え下さい。連絡先: (電話) 029-861-8419 (メール) torimura-masaki@aist.go.jp
場所は産総研「つくば西」です。つくば中央地区とお間違えの無いようご注意下さい。

http://www.aist.go.jp/aist_j/guidemap/tsukuba/west/tsukuba_map_w.html

